

施設見学会

廃棄物資源循環分野の最新の制度や取組事例の知見を共有することを目的に行う施設見学会を、以下の3コースご用意いたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

- 開催日 : 9月17日(水)
- 集合・解散場所 : 広島駅新幹線口(コースⅡのみ福山駅解散あり)
- コース :

| 内 容 | 定 員 | 参加費 |
|--|-----|---------------------------|
| コースⅠ【新規海面埋立処分場およびPCB処理施設見学】 9:00 広島駅新幹線口集合 ①広島県環境保全公社 出島地区廃棄物等埋立処理処分場(昼食) ②中国電力株式会社 絶縁油リサイクルセンター ③中国電力株式会社 柱上変圧器リサイクルセンター 17:00 広島駅新幹線口着 | 30名 | 2,000円 |
| コースⅡ【びんごエコタウン見学 -RDF製造・発電施設および食品容器リサイクル-】 8:00 広島駅新幹線口集合 鞆の浦散策～(昼食) ①福山市ごみ固形燃料工場および福山リサイクル発電株式会社[RDF発電工場] ～メガソーラー(車窓) ②エフピコ福山リサイクル工場(トレー・透明容器リサイクル) 16:30 福山駅着 18:30 広島駅新幹線口着 | 40名 | 4,000円 (昼食代 500円込み) |
| コースⅢ【下水汚泥燃料化施設およびごみ発電施設見学】 9:00 広島駅新幹線口集合 ①広島市西部水資源再生センター(下水汚泥の燃料化施設)(昼食) ②広島市安佐南工場(ごみ発電施設) 16:30 広島駅新幹線口着 | 30名 | 2,000円 |

- 申込方法 : 研究発表会専用ホームページからお申込みください。
見学会参加には研究会への参加が必要です。研究発表会の事前申込みも併せて行ってください。
- 申込締切 : 8月22日(金) ※先着順(締切日以降でも空きがあれば以下の問い合わせ先にて受け付けます)
- 注意点 : 申込にあたってはセッションプログラムを十分ご確認の上、お申込みください。
参加者の都合によりキャンセルされる場合、参加費は返金いたしません。
- 問合せ先 : 実行委員会 施設見学会企画担当 乗越 晃 norikosi@cecnet.co.jp

I 新規海面埋立処分場およびPCB処理施設見学

一般財団法人広島県環境保全公社は、県西部地域から発生する廃棄物を適正に処理することにより、生活環境の保全や県内産業の発展に貢献する施設として、平成26年3月に新規の海面処分場を完成させ、6月から受入を開始しています。この処分場は、主な施設には集塵機などを設置し、廃棄物の受入から水中投入までを一貫して屋内で作業を行うことで大気中に廃棄物を飛散させない全国に例のない施設です。

PCB処理施設は、中国電力株式会社が平成13年に施行された「PCB特別措置法」を受け、自社で保有する柱上変圧器を適切に無害化処理するために、平成18年～19年に設置した施設です。柱上変圧器リサイクルセンターは真空加熱分離法を用いて部材に付着している絶縁油を分離させたうえで部材をリサイクルしています。分離した絶縁油は絶縁油リサイクルセンターでアルカリ触媒分解法により無害化処理したうえで、燃料としてリサイクルしています。

II びんごエコタウン見学

福山市ごみ固形燃料工場は、家庭及び事業所から排出された可燃ごみ(一般廃棄物)を破碎・乾燥・選別・圧縮成形し、ペレット状の固形燃料(RDF)にします。製造工程を経て完成したRDFは、隣接する福山リサイクル発電所で処理されて電気エネルギーに変換しています。

エフピコは、スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使われる簡易食品容器のトップメーカーです。1990年より「トレーtoトレー」の循環型リサイクルを構築し使用済みトレーをリサイクルしています。リサイクル

製品である「エコトレー」は国内で使用されるトレーの 25%を占めるまで普及しています。現在では、PET ボトルから透明容器に生まれ変わる「ボトル to トレー」のリサイクルも確立し循環型社会の構築に向け進化を続けています。リサイクル工場では、回収されたトレーや透明容器を選別し、「エコトレー」の原料となるペレットになるまでを見学していただけます。

Ⅲ 下水汚泥燃料化施設およびごみ発電施設見学

広島市は、下水汚泥の有効利用による再生可能エネルギーの創出と温室効果ガスの削減を目的とし、下水汚泥を炭化物として燃料化して生成した燃料化物を近隣の火力発電所で利用する事業を開始しました。下水汚泥燃料化施設は西部水資源再生センター内にあり、燃料化施設の炭化炉の燃料には、再生センター内で発生する消化ガスを積極的に活用すると同時に従来の汚泥焼却施設を廃止したことで、温室効果ガスの大幅な削減を達成しています。本施設はわが国初となる低温炭化技術を採用しており、自動燃焼装置により、ごみを完全燃焼できるように制御しています。さらに、電気集塵機や有害ガス除去装置など公害防止設備を完備しています。

広島市安佐南工場は、大型ごみ破碎処理施設と焼却施設が設置されており、焼却施設は平成 25 年に竣工した最新設備です。また、施設の配置及びデザイン等は、周辺環境との調和を図り、魅力的な施設となるように景観配慮がなされています。焼却炉は連続運転式ストーカー炉であり、ダイオキシン類をはじめとする有害物質の排出の低減に寄与する高度な排ガス処理技術が導入されています。また、ごみ焼却により発生した熱を利用した高効率発電など、資源循環型社会の形成に資する施設です。

コース I

PCB 処理施設 ～ 絶縁油リサイクルセンター／柱上変圧器リサイクルセンター



新規海面処分場 ～ 出島地区廃棄物等埋立処理処分場



コース II

びんごエコタウン ～ 福山市ごみ固形燃料工場および福山リサイクル発電株式会社



びんごエコタウン ～ エフピコ福山リサイクル工場



コース III

下水汚泥燃料化施設 ～ 広島市西部水資源再生センター



ごみ発電施設 ～ 広島市安佐南工場

